

## 第 8 回奈良のシカ保護管理計画検討委員会

日時 平成 30 年 3 月 20 日 (木) 15:00 ~ 17:00  
場所 奈良春日野国際フォーラム 薨~I・RA・KA~会議室 1

### 議 事 要 旨

1. 開会
2. 議事

#### 【報告事項】

- (1) 平成 30 年度の奈良のシカの保護管理に関する取組の実施状況について
- (2) 奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画に基づく平成 30 年度モニタリング報告について
- (3) 奈良のシカと車両との交通事故防止対策について

#### 【審議事項】

- (1) 天然記念物「奈良のシカ」保護計画について
- (2) 委員会の今後のスケジュールについて

3. 閉会

#### — 配布資料一覧 —

##### 【報告事項】

- ・資料 1 平成 30 年度の委員会、各ワーキンググループの開催状況
- ・資料 2 奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画  
平成 30 年度実施報告及び平成 31 年度実施方針 (案)
- ・資料 3 交通事故防止対策の実証実験結果

##### 【審議事項】

- ・資料 4-1 天然記念物「奈良のシカ」保護計画 暫定計画 (案) の構成
- ・資料 4-2 天然記念物「奈良のシカ」保護計画 暫定計画 (案)
- ・資料 5 天然記念物「奈良のシカ」保護管理計画に係るスケジュール (案)

- ・参考資料 第 7 回奈良のシカ保護計画検討委員会 議事概要

● 出席者名簿

	氏 名	役 職 名
委員長	村上 興正	元京都大学理学研究科 講師
委 員 (五十音順)	朝廣 佳子	鹿サポーターズクラブ 会長
	蘆村 好高	一般財団法人奈良の鹿愛護会 事務局長
	高柳 敦	京都大学 講師 (欠席)
	立澤 史郎	北海道大学大学院 助教
	玉手 英利	山形大学 教授
	鳥居 春己	奈良教育大学 特任教授
	松井 淳	奈良教育大学 教授
	渡邊 伸一	奈良教育大学 教授
オブザーバー	江戸 謙顕	文化庁文化財第二課 文化財調査官 (欠席)
	北野 治	春日大社 管理部管理課 課長
	中西 康博	奈良県ビジターズビューロー 専務理事
県関係課	農林部農業水産振興課	
	奈良公園事務所	
市関係課	奈良市観光経済部農政課	
	奈良市教育委員会事務局教育総務部文化財課	
関係団体	奈良公園のシカ相談室	
	鹿害阻止農家組合	
事務局	奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室	
	奈良市観光経済部観光戦略課	

- 議事要旨

### 【報告事項】

#### (1) 平成 30 年度の奈良のシカの保護管理に関する取組の実施状況について

平成 30 年度のワーキンググループの開催状況について、事務局より資料 1 を用いて報告を行った。

#### 【主な意見・質問】

- ・特になし

#### (2) 奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画に基づく成 30 年度モニタリング報告について

奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画に基づく平成 30 年度モニタリング報告について、事務局より資料 2 を用いて報告を行った。

#### 【資料修正事項】

- ・農業被害アンケート調査の表 4-2 の被害面積の定義を示す。
- ・平成 31（2019）年度の捕獲の実施方針の期間は「許可日以降～平成 32 年 3 月（予定）」に修正する。

#### 【主な意見・質問】

##### ➤ 農業被害アンケート調査について

- ・捕獲した場所で被害がどうなったかの比較と、D 地区全体で被害がどうなったのかの比較が必要。（村上）

#### (3) 奈良のシカと車両との交通事故防止対策について

#### 【資料修正事項】

- ・簡易柵の設置範囲の長さを「L＝」ではなく「長さ＝」とする。

#### 【主な意見・質問】

- ・特になし

### 【審議事項】

#### (1) 天然記念物「奈良のシカ」保護計画について

天然記念物「奈良のシカ」保護計画 暫定計画（案）について、事務局より資料 4-1、4-2 を用いて説明した。

#### 【決定事項】

- ・A 地区に重点を置いた天然記念物「奈良のシカ」保護計画 暫定計画（案）について、承認された。
- ・次年度以降、B 地区を含めた保護計画を関連する 3 委員会で連携して検討する。

## 【資料修正事項】

- ・資料 4-2 の図 5-6 について、サンプル数を示す。
- ・資料 4-2 の図 5-9 について、1970 年代の個体数は毎年調査できているわけではないので、実施していない年は間をあける。
- ・資料 4-2 の図 5-11 について、複数の個体の結果を示す。
- ・保護の目標の記載で「奈良公園に元気で暮らしていること」について、奈良公園基本戦略を確認し修正する。
- ・p. 27 のシカの食性のアンケート結果について、「「雑食」が 47.5%とほぼ半数を占めていた。」とする。
- ・実施体制について、県、市、春日大社が主たる費用負担者となっているので 3 者が中心となるような図に修正する。

## 【主な意見・質問】

- ・奈良公園のシカの遺伝的特性について、中長期的にモニタリングが必要である。5～10 年ごとでよいので確認し、分集団 A（赤色）のところに分集団 B（緑色）が入ってこないかモニタリングする必要がある。（玉手）
- ・生息環境の草地面積の数値の意図が不明である。A 地区全体に占める草地面積の割合を示した方がよい。（松井）
- ・生息環境については、関係する委員会と具体的に話をしてほしい。3 委員会の開催状況の共有、交流が必要である。（村上、立澤）
- ・人獣共通感染症については、今後動向を注意すべきである。（村上）
- ・観光客はシカの生態や危険があることを知らない。注意喚起が甘いのではないか。小さな子ども、高齢者には特に注意を強く喚起すべきではないか。（渡邊、中西）
- ・危険性を伝える際、観光等への影響があるとして「シカのことを悪く言わないで」という空気ができている。（渡邊）
- ・鹿せんべい販売店の配置について、期間を限定して配置を変える実証実験をした方がよい。（渡邊）
- ・シカの糞の形が変わってきている。不適切な餌を与えられることによるものかもしれない。（朝廣、中西）
- ・鹿サポーターズクラブでは、危険なシカを人から一時的に遠ざけるためにドングリを使っている。WG では奈良公園内のドングリならば問題ないということであった。p. 27 の表現では、奈良公園内のドングリもだめだというように見えるため、表現を修正してほしい。（朝廣）
- ・人身事故や交通事故のモニタリングは、愛護会やシカ相談室だけでは全体を把握できない。全体を把握できるモニタリング手法を検討する必要がある。（蘆村、村上）
- ・鹿せんべい以外の給餌について、一の鳥居付近でドングリ、パンの耳を袋詰めを持ち歩いている人がいて、中国人が 500 円で売っているという情報がある。（北野）
- ・ゲストハウスで残飯等のストックのシステムができあがってきている。指導次第で環境教育的によい方向に向かう可能性もある。（立澤）
- ・組織化すると問題となるため、取締りが必要である。（村上）

(2) 委員会の今後のスケジュールについて

委員会の今後のスケジュール（案）について、事務局より資料5を用いて説明した。

**【決定事項】**

- ・今後のスケジュール（案）について、承認された。

**【主な意見・質問】**

- ・3委員会意見交換会のスケジュールは早い方がよい。（松井）

以上、委員の意見順不同